

# 英国のEU離脱

# 1 英国のEU離脱(これまでの経緯／今後の予定)

平成31年2月12日時点  
外務省



2017年3月29日 **英国によるEU離脱通知** (原則として通知から2年以内(2019年3月29日まで)に離脱協定締結)

## 6月19日 **交渉開始**

第一段階において、「**市民の権利**」, 「**金銭上の義務**」, 「**アイルランド国境問題**」を議論。  
第二段階において、将来の関係について準備協議を行う。

12月8日 **ユンカー欧州委員長とメイ英首相の会談** : 第一段階の交渉につき**大筋で合意**。

●「**市民の権利**」 : 英は、離脱時点まで欧州司法裁(ECJ)判例に沿って解釈し、離脱後もECJ決定に妥当な考慮を払うと合意。

●「**アイルランド国境問題**」 : 英EUは、今後ハード・ボーダーの回避を目指すことで合意(それが不可能な場合は、英国がアイルランドの特別な状況に配慮した解決策を提案すること、それでも合意できない場合は、北アイルランドでEU規則との完全な調和を維持することで合意)。

●「**金銭上の義務**」 : 英国は、2019-20年予算に従来どおり貢献し、2020年末までのEU債務等の分担に合意。

12月15日 **欧州理事会** : **第二段階への移行**を決定し、その交渉指針も採択。

2018年3月19日 **英EU共同で離脱協定案公表** : 英EU間で**移行期間を2020年末まで設ける**ことで合意。

7月6日 **英国による将来関係に関する新交渉方針の公表** (7月12日の「将来関係白書」において詳述)  
: 英EU間での物品に関する「**自由貿易地域**」設置、「**円滑化された通関取決め**」の段階的導入等

9月19・20日 **非公式欧州理事会** : EUは、7月の英国の新交渉方針を明示的に**否定**。

10月17・18日 **欧州理事会** : 具体的な進展なし。

11月14日 **メイ首相、離脱協定案及び将来関係に関する政治宣言(概要)の内閣承認を発表**。

**ユンカー欧州委員長がトウスク議長宛に「決定的な進展」を伝える書簡を発出**。

11月25日 **特別欧州理事会** : EU27か国が**離脱協定**及び**政治宣言**を承認。

12月10日 **英議会下院** : 12月11日に予定されていた離脱協定に関する承認案の採決を**延期**。

12月13日 **欧州理事会** : 離脱協定を**再交渉しない**ことを確認。

2019年1月15日 **英議会下院** : 離脱協定、**賛成202票、反対432票の大差で否決**。直後、コービン労働党党首は内閣不信任案提出(16日否決)。

1月21日 **英政府** : 今後の方針に関するステートメント及び動議を提出。

1月29日 **英議会下院** : バックストップの変更を求める修正案及び「合意なき離脱」の回避を求める修正案を可決。

---

## 3月29日 **英国のEU離脱**

2020年12月31日 **移行期間の終了** (移行期間が設けられる場合。延長の可能性もあり)

## 2 日本政府の対応

### 日本政府の主な対応

- ◆ **外務大臣談話の発出**(英国のEU離脱に伴う影響に注視し、国益の観点から適切に対応、政治、経済、安全保障等の分野で、引き続き日英関係の維持・強化に努める等)
- ◆ **関係閣僚会議開催**(世界経済や金融・為替市場に与えるリスク等議論)  
**G7声明も発出。**
- ◆ **関係省庁による政府タスクフォースの立上げ**(議長:内閣官房副長官)  
日系企業等経済界の懸念・要望やそれを踏まえた政府の考え方を整理し、  
**「英国及びEUへの日本からのメッセージ」**を採択(2016年9月2日)。  
(下記5つのポイント参照)/直ちに英国・EU及び他EU加盟国に働きかけを開始。  
これまで計11回開催(「企業との意見交換会」を含む。)



### 「英国及びEUへの日本からのメッセージ」(5つのポイント)

- ①国際の平和、安定、繁栄のため、引き続き英・EUとの緊密な協力・連携を期待。
- ②開かれた欧州の維持。自由貿易体制の旗振り役を共に担い続けたい。
- ③経済面での懸念は不確実性。円滑・透明なプロセスを通じた離脱交渉による予見可能性の確保を希望。
- ④日本企業の要望に最大限耳を傾け、きめ細やかな対応、ビジネス環境の維持、急激な変化の緩和を希望。
- ⑤離脱プロセスが世界経済に大きな混乱を与えないよう英国及びEUと協力したい。

### 最近の日英首脳会談

#### 日英首脳会談(2018年12月1日、於:ブエノスアイレス)

安倍総理から、EUと英国の間の離脱プロセスの進展を歓迎し、メイ首相のリーダーシップに敬意を表する旨述べた上で、「合意なき離脱」を回避し、透明性・予測可能性及び法的安定性を確保することを引き続き要請。

メイ首相から、今般EUとの間で合意した離脱協定及び将来関係に関する政治宣言は英国及び英国に拠点を有する日系企業を含めたビジネスにとって良いものであり、離脱後の英国の貿易にとって良い基礎となる旨発言。

#### 日英首脳会談(2019年1月10日、於:英国)

安倍総理大臣から、英国のEU離脱に関する最終的な判断は英国が行うものであると述べた上で、「合意なき離脱」は是非回避してほしい、移行期間を設け、英国進出企業の法的安定性を確保しようとするメイ首相の取組を日本は全面的に支持する旨述べた。

メイ首相から、安倍総理の支持に感謝する、現協定案は日系企業にとっても良い案である旨発言。



安倍総理訪英(2019年1月)

# 3 「英国のEU離脱に関する政府タスクフォース」及び関連動向

## (1) タスクフォース(TF)の概要

- ◆ 2016年6月の英国・国民投票の結果を受け、7月「**英国のEU離脱に関する政府タスクフォース**」を設置。関係省庁を通じ、**日系企業を始めとする経済界の懸念や要望事項を集約**。現在の議長は西村内閣官房副長官。
- ◆ 関係省庁(内閣府, 金融庁, 総務省, 外務省, 財務省, 厚労省, 農水省, 経産省, 国交省, 個人情報保護委員会事務局)参加の下これまで12回開催(企業との意見交換会を含む。)

## (参考)これまでの開催実績

- **第1回会合** (2016年7月27日)  
英国・EUへの働きかけにつき集中的に検討。結果の取りまとめを各省庁に指示。
- **第2回会合** (2016年8月18日)  
日本企業の関心・要望等の中間取りまとめ。英国・EUへのメッセージ案作成を指示。
- **第3回会合** (2016年9月2日)  
「**英国及びEUへの日本からのメッセージ**」(6頁)を採択し、首脳・外相レベルでの働きかけの方針等を確認。
- **第4回会合** (2017年1月19日)  
メイ首相が離脱交渉の基本方針を表明したのを受け、一層の情報の収集・分析や、日系企業等の懸念・要望の把握を指示。
- **第5回会合** (2017年3月30日)  
3月29日の英国離脱通知を受け、①EU側交渉方針を含む関連情報収集, ②日系企業等の懸念・要望の把握, 適切な情報共有・支援, ③英国・EUへの働きかけ, を指示。
- **第6回会合** (2017年8月28日)  
メイ英国首相訪日を前に、①タイムリーで正確な情報の収集・分析, ②経済界の懸念・要望の汲上げと細やかな日系企業支援の実施, ③我が国の関心, 問題意識及び懸念について英国・EUへの働きかけの継続, を指示。

# 3 「英国のEU離脱に関する政府タスクフォース」及び関連動向

## (参考)これまでの開催実績

- **第7回会合** (2017年12月18日)  
英国・EU間の交渉の第二段階への移行の決定を受け、①英国・EUから情報収集及び産業界への影響の分析、②日系企業の意見や要望の聴取、関連情報の提供、③経済界の意見や要望を受止め、事案に即し、最大限の支援を指示。
- **第8回会合** (2018年3月26日)  
英EU間で移行期間に関する交渉がまとまったことを受け、①経済界への情報提供の継続、②経済界との意見交換、③経済界への影響が最低限となるよう英EUへの働きかけの継続、を指示。
- **企業との意見交換会** (2018年5月28日)  
食品、医薬品、電気・電子、自動車、鉄道、原子力、電気通信、金融及び情報の各産業分野の関係者と意見交換を実施。
- **第9回会合** (2018年9月12日)  
英EUが離脱交渉をまとめる目標としている10月が迫っていることを受け、①経済界への情報提供の継続及び最大限の必要な支援、②経済界への影響が最小となるよう英EUへの働きかけの強化、③関連省庁所管業界のブレグジットへの準備状況のフォローの継続、を指示。
- **第10回会合** (2018年11月26日)  
英EU間でまとめ、臨時欧州理事会において承認された離脱協定案及び将来関係に関する政治宣言案が、今後英国議会及び欧州議会の承認をする必要があることに留意しつつ、①あらゆるシナリオに備えた情報収集の強化、②日系企業に対する情報提供・支援の継続、③所管業界に対し引き続き離脱への備えを促すこと、を指示。
- **第11回会合** (2019年1月22日)  
「合意なき離脱」を避けることができるのか確たる見通しは立たないとしつつ、①情報収集の更なる強化と日系企業に対する情報提供・支援の強化、②英国及びEU双方への「合意なき離脱」の回避の要求継続と英国のEU離脱による影響が最小限になるよう最大限の働きかけの継続、③関係省庁から所管業界に対する「合意なき離脱」の場合も含めた英国のEU離脱への備えを強く促すことを指示。



# 3 「英国のEU離脱に関する政府タスクフォース」及び関連動向

## (2) 「英国及びEUへの日本からのメッセージ」の概要

(2016年9月2日, 第3回TFで採択。)

### 【骨子】

- ◆ 国際の平和, 安定, 繁栄のため, 引き続き英・EUとの緊密な協力・連携を期待。
- ◆ 開かれた欧州の維持。自由貿易体制の旗振り役を共に担い続けたい。
- ◆ 経済面での懸念は不確実性。円滑・透明なプロセスを通じた離脱交渉による予見可能性の確保を希望。
- ◆ 日本企業の要望に最大限耳を傾け, きめ細やかな対応, ビジネス環境の維持, 急激な変化の緩和を希望。
- ◆ 離脱プロセスが世界経済に大きな混乱を与えないよう英国及びEUと協力したい。

### 【日系企業等経済界の主な要望事項】

- ① 透明性の確保  
離脱交渉プロセスの明確化, 制度変更時の十分な移行・周知期間の設定。
- ② 貿易・投資  
自由貿易体制及び現行関税率や通関手続等の維持, 原産地規則の累積規定の導入。
- ③ 人の移動  
英国籍・欧州籍労働者へのアクセスの維持。
- ④ 金融サービス  
単一免許制度を含む金融サービス提供や設立・開業の自由の維持や, グループ企業間を含む資金移動の自由の維持。